

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

田辺市立稲成小学校（和歌山県）【指定校】

【取組内容②】 情報活用能力の育成

資料 1：掲示物を活用した板書

2月7日(金)

めあて: これまでの学習をふり返って、はてんさせよう!

情報収集: $1.36 \times 7 = 9.52$

整理分析: $1.36 \times 7 = 9.52$ (100倍↑)

まとめ表現: 小数を整数になおす

ふり返り: $136 \times 7 = 952$ (100倍↓)

問題づくり: 問題を考える、数をふやす(位に注目)、ひき算をする、 $\times 100$ に注目

スプレッドシート

もしよたら... 小数点の位置をみる、だいたいの数を計算する、らい

もしくは、復習

情報活用能力を育成するために、様々な教科で、学習過程を繰り返し意識して授業を行うようにしました。

どの学年でも学習過程を意識できるように、板書用の掲示物を統一し、教師も児童も意識するようにしました。【資料 1】

掲示物は、めあて・情報収集・整理分析・まとめ表現・振り返りを板書に掲示し、学習の流れが一目で分かるように工夫しました。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

田辺市立稲成小学校（和歌山県）【指定校】

【取組内容②】 情報活用能力の育成

資料2 五年算数単元計画

比べ方を考えよう（単位量あたりの大きさ）			第0時 あっぱれーと
学習（単元）の流れ		★ これまでの学習との共通点を説明することができる。SSS	
習得	1 <u>どのうさぎ小屋が一番きゅうくつかな？</u> p.27～28	メガネを使って混み具合を比べたらB 色々な方法で比べて答えを出せたらA	
	2 <u>Dのうさぎ小屋のきゅうくつ具合はどうか？</u> p.29		
活用	3 人口密度を求めよう。 p.30	解決方法を説明できたらB 図とメガネをつかって説明できたらA	
	4 どちらの田でよくお米がとれる。 p.31		
習得	5 <u>弟とどちらが速いかな？</u> p.32～34	速さを求められたらB メガネを使って速さを説明できたらA	
	6 <u>どちらの電車が速いかな？</u> p.35～36		
活用	7 <u>ツバメが進むことのできる道のりは？</u> p.37	メガネを使って説明できたらB メガネを使って表し方を考えられたらA	
	8 <u>台風が進む時間は？</u> p.38		
熟	9 <u>たしかめよう</u> p.40	学び方を工夫してがんばればB 生活に活用できたらA	

また、授業の初めに学習過程を提示するようにしています。

5年生算数では、単元計画を提示しています。【資料2】

4年生国語では、毎授業の学習の流れを提示しています。

【資料3】

それぞれの教科で工夫した学習の過程を作成し、提示するようにしています。

提示することで、見通しが持て、児童が自分から学習に取り組もうとする姿が見られるようになりました。

資料3 四年国語授業計画

単元のゴール		考えとそれを支える理由や事例を見つけることができる。 感じたことや考えたことを共有し、感想や考えを持っている。
問題		自分の興味をはっきりとさせることができる。
評価		本文を読んで、興味をはっきりさせている。
学びの手引き		
第2時		
情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
・5分漢字 ・文章の大体をとらえる。	・p108を読み、どんな所に興味があるかはっきりさせる。	・発表し、観点をまとめる。 例：筆者の○○ 実験の○○